



# 自分に挑戦！ チャレンジ南関中

2020年5月22日発行

文責 樹本



夢を描き、絆を深め、自分に挑戦する生徒の育成～輝きと潤いのある学校づくりをめざして～

2020年度 身に付けさせたい力

「自分の未来を創造する力」・「相手意識をもった適切な対応力」・「自ら考え、自ら行動する力」

## 【感染対策②】感染対策を促す取組

◇ていねいに手指を消毒しましょう◇



教室の入口に消毒液とマニュアルをおいて、教室に入る前など必ず行うように習慣づけています。

◇2mの間隔を体で覚えましょう◇



ソーシャルディスタンスは、日本語で社会的距離を意味しますが、感染対策のなかでは、人との接触距離の確保として使われています。せきのしぶきが到達する距離が約2mと言われているので、マスク着用と2mの距離を保つことで飛沫（ひまつ）感染を防ぐことになります。2mの間隔の足跡を表示して体感するようにしています。

◇手洗いは、距離を保って待ちましょう◇

水道と向かい合うように赤のラインを設けています。次の人はこのラインで順番を待つこととなります。



◇手洗い・うがい・消毒に努めましょう◇



3つの言葉を廊下の天井からつり下げ、こまめに行うように呼びかけています。廊下を歩けば、数カ所に下がったこの表示が心に呼びかけています



感染対策を続けながら、来週は午後からも授業を行い、通常の学校生活にもどしていきます。生徒の皆さんも、こまめな手洗い・うがい・消毒と仲間との適切な間隔を保つように心がけてください。

## 「相手の立場にたった」いい話

新型コロナウイルス感染拡大防止が全国的に取り組まれているなか、新聞等で見聞きした、いい話がありました。

◇中学生が、手作りマスクを贈る！



山梨県の中学1年生の女の子は、マスクが不足していることを知り、マスクの作り方をお母さんに教えてもらいました。そして、臨時休校で家庭生活が続く中で、600枚のマスクをつくり、「山梨県でマスクが無くて困っている人にわたしてください」と言って贈ったそうです。さらにすごいと思ったのは、材料費（80000円）は、すべて正月にもらった自分のお年玉を使ったということです。

◇ゴミ袋などに感謝のメッセージ！

ゴミ袋に入ったマスクやティッシュなどが、ゴミ収集車に積み込むときに破裂して飛散することがよくあるそうです。感染する危険性が高い中でも、清掃業者の皆さんはゴミ回収の仕事の続けなければなりません。そんな方々に対して、ゴミ袋やゴミ捨て場の壁などに「ありがとうございます」や「気を付けてお仕事がんばってください」などの励ましメッセージが、たくさんあると聞きました。

◇医療関係者に感謝の気持ち！

患者さんの治療に最前線で取り組まれ、危険と常に隣り合わせの医療関係者の皆さんに、社員全員で整列して拍手を送ったり、イルミネーションで労を労ったり、自分たちに出来ることで感謝の気持ちを現す場面もテレビ等で多く見られました。

相手の立場にたって行動できる素晴らしさ、そして、私も身に付けたいと思わせるいい話です。

～お礼～ 子どもの丘保育園さんから、自家製の消毒液をいただきました。園長先生はじめ園の先生方に感謝申し上げます。ありがとうございます。

